

西日本支店長会

Branch

2017.12 No.436

Branch
西日本支店長会

2017年12月 No.436

西日本支店長会事務局

〒810-8721 福岡市中央区天神1-4-1 西日本新聞社 西日本会事務局内
TEL092(711)5190 FAX092(711)5199 e-mail:shitenchokai@nishinippon-np.jp



「雪中を走る甘鉄列車」撮影:酒井 忠正(筑前町在住)

事務局だより Secretariat newsletter

新入会員



EnLinx Partners

DEO & Business Producer

尾中 泰氏(山口県出身)

- 所在地/福岡市中央区大名2-6-11-313
- 電話/080-4279-4188



日本信号株式会社

九州支店長

流郷 一宏氏(岡山県出身)

- 所在地/福岡市中央区大名2-4-30 西鉄赤坂ビル9階
- 電話/092-771-6175



株式会社長谷工コーポレーション

九州事業部長

大曾根 一勝氏(東京都出身)

- 所在地/福岡市博多区博多駅前1-21-28 博多駅前スクエア2階
- 電話/092-477-5445

会員異動



佐藤工業株式会社

執行役員 九州支店長

勝山 正昭氏

(長野県出身)

前任者 八代勇八氏は九州支店 顧問へ



タイムズモビリティネットワークス株式会社

第5営業本部長

法隆 賀夫氏

(東京都出身)

前任者 畷俊介氏は執行役員 第三営業本部長へ



大和証券株式会社

福岡支店長

渡辺 淳司氏

(岐阜県出身)



パナソニック株式会社 エコソリューションズ社

九州電材営業部長

古西 浩之氏

(兵庫県出身)

前任者 西尾匡史氏は九州住建営業部長へ

西日本会2018新年祝賀会

日時:2018年1月10日(水) 18:30~20:00

会場:グランド ハイアット 福岡 3F ザ・グランド・ボールルーム
福岡市博多区住吉1-2-82

西日本支店長会・パートナーズクラブ合同 2月例会

日時:2018年2月19日(月) 12:00~13:30

講師:日本銀行福岡支店長 松本 順丈氏

演題:「平成30年 景気展望のポイント(仮)」

会場:天神スカイホール

組織の経営改革と 市民クラブとしての 活動

福岡のチームとして、Jリーグに所属するアビスパ福岡。今季はJ2として、プレーオフ決勝に臨みましたが、J1昇格は持ち越しになりました。

西日本支店長会10月例会の講師は、アビスパ福岡代表取締役社長の川森敬史氏。「組織の経営改革と市民クラブとしての活動」と題して、基本理念やクラブ経営、業務限定社員の活用、市民クラブとしての活動、理念共有とキャリア形成、支援組織の拡大、そしてアビスパ福岡の未来に向けてについて語りました。講演の最後に、井原正巳監督と選手のサインが入った公式ボールを、ジャンケンで勝った支店長会会員にプレゼントしました。

(講演日:2017年10月6日)



アビスパ福岡 代表取締役社長
かわもり たかし
川森 敬史氏

プロの経営者が社長の時代

アビスパ福岡は、地元で20年クラブ運営をしている会社です。今期より執行役員を増やし、現場での執行をそれぞれの専門に従ってしているところが、昨年と違う点です。私自身は出資に伴って社外取締役として、今は代表としての仕事をさせていたでいます。私はアパマンショップネットワークという全国でフランチャイズ展開をしている会社の代表も務めております。その他、小倉のあるあるCITY、宗像で自治体と出会うの場を設けるNPO法人ジュニールの運営など、兼務も多い中で香椎浜の本社に執行役員を置いて、代表としての仕事をしています。

Jリーグには54のクラブがありますが、アビスパ福岡の特徴は、親会社を持たない市民クラブということ。名古屋グランパスはトヨタ自動車の連結で、横浜F・マリノスは日産自動車、セレッソ大阪はヤンマーが実質の親会社です。株式の過半数以上を二事業会社が持ち、グループ会社として運営しているJリーグのクラブはたくさんあります。アビスパ福岡は、一民間企業が過半数以上の株式を持た

ずに88の株主がいます。さらに福岡市や福岡県にも出資をいただいています。これが市民クラブです。

アパマンショップは、福岡で前身の会社を発足させて、上場を目指すために東京に出ていったという経緯があります。縁をいただき、2014年8月から経営に携わっています。

会社なので、何の目的で会社を作ったのかという基本理念があります。「アビスパ福岡は、地域に根ざしたスポーツクラブとして、地域に生活する人々とともに発展します」「アビスパ福岡は、スポーツを地域に誇りと活力を与えます」「アビスパ福岡は、スポーツを愛する新しいコミュニティづくりと世界に開かれた豊かなスポーツ文化の創造に貢献します」。この三つを基本理念に掲げています。基本理念に立脚することが福岡の市民の皆さま、企業の皆さまに受け入れていただけるという思いで日頃より運営しています。

スポーツクラブなので、どのようなピラミッド構成になっているのかを説明します。井原正巳監督の元で活躍する選手がいるトップチームは、新聞などでクロージアアップされていますが、実は裾野として、小学4年生から高校3年生ま



いのちにアリガト④④

いよいよ師走皆様走っておいででしょうか?

同じように流れる月日なのに

年の暮れになると何故だか感慨深く、あわただしくなってしまう

でも区切りのあると言うのは振りかえる機会を貰えて有難いものです

外に出ると鮮やかな紅葉や落葉の美しさに

感謝の気持ちで一杯になります

命の湧れる直前まで魂を燃やし彩って心に光をくれるよう

命果てても尚気高く

地にかえって又次の命の種になってくれている

私は今貰っている命を燃やしているのだろうか?

できる事がもっとあるのではないかと

思いを馳せ来年の目標を少しずつ立てている今日この頃です

素敵な一年の締めくくりの月となります様に

(大国チオナ)

Branch 2017 12 No.436

INDEX

例会Report

「組織の経営改革と市民クラブとしての活動」
アビスパ福岡 代表取締役社長 川森 敬史氏 …… 2~6

「戦前 戦中 戦後72年の今の目線で…
歴史 戦後の市長さんの遺跡を見る」
郷土史研究 ふるさとのかたりべ 岡部 定一郎氏 … 7~12

特別例会 懇親会 …… 13~14

2017西日本新聞ゴルフ会 …… 15~16

九州人奔る …… 17~18

事務局だより …… 19

での育成アカデミーに110名ほどを預かりしています。プロのサッカー選手を目指して頑張っています。またその裾野には、全体で1500名ぐらいですけど、スクール活動をしています。日本代表の井手口陽介選手がアビスパのスーパースクールの出身です。その他に、市民クラブとしてホームタウン活動を展開しています。これは後ほどお話しします。

アビスパの経営に携わるまでは、サッカー少年ではなく野球少年でした。アビスパの役員になり、初めてレベルファイブスタジアムでサッカーを見たという人間です。グループの代表から「川森、ちょっとアビスパ福岡をやってきなさい」という話をもらったときに、サッカーのルールも知りませんでした。オフサイドは、なぜあそこで旗が上がるのかよく分からなかったの、「社長、野球だったらよく知っています」と話しました。ところが、「経営はサッカーのルールを知らなくてもできるから」と背中を押されました。

この会場の皆さまも、何かの機会にスポーツクラブの経営に携わることがあるかもしれません。そのときは、ぜひチャレンジしてください。今、日本の成長戦略の中で、一般社員も上司に言えば見ることができず。

なぜそう考えたのかと言いますと、スポンサー収入が売り上げの非常に大きな割合を占めています。スポンサー費用に対して、本当に何か値するものをクラブが提供できるかというと、その対価に見合った物質的なものをお渡しできることは難しいと感じています。1000万円スポンサードしてもらっている企業に何を提供できているのかというところ、スタジアムの看板やユニフォームなどに企業名を入れる、ウェブに名前をアップすることぐらいです。事業に携わってきた経営感覚からすると、本当に有りがたいことだと感じています。なので、企業からクラブのためと思っただけでいただいたお金を、例えば、中洲で領収書をばんばん切っていたら、なんだって思うのが人情だと思いません。そういう使い方は一切しておりませんし、そういう使い方ができない仕組みという意味で、情報開示と情報共有を徹底しているのです。

経営会議には、強化部長やアカデミーの責任者、普段ベンチにいて子どもたちに技術的な指導をするアカデミーダイレクター、スクールの育成普及部の部長にも入ってもらっています。会社がどのように



就任記者会見

スポーツ産業を成長産業の基幹産業にするという経産省の方針が出ています。Jリーグばかりでなく、いろんな業界でプロの経営者をスポーツチームに招聘するという流れが出てきているのです。

Jリーグ54クラブチームの代表者会議が、村井満チエアマンの主宰で毎月開催されています。その時感じるのですが、概ね四半期に1回はどこかのクラブの社長が替わっているのです。その会議に3年半出ていますが、ほとんど経営者の方、企業人が多くなっています。最近では、4月にジャパネットの高田会長がJ2のV・ファーレン長崎の社長に就任しています。それ以外は、ずっとサッカー界をやっている

意思決定し、会社の財布がどのような状況なのかということを理解した上で、一緒に経営をしていこうということが続いています。

Jリーグの社長さんたちとお酒を飲んだときに、冗談半分の愚痴がたまに出ます。「現場はこの選手がほしい、あの外人選手がほしい、この監督を引っ張りたいたいと編成の責任者は必ず言う」と。でも実力のある選手は年俸が高いのです、1億円が予算だったら5000万円の選手ではなくて、1500万円の選手を何人か集めて、あとは500万円の選手でそろえるなどいろんなやり方があります。財布の中身を、編成の部長である強化部長が知っておくことによって監督とのコミュニケーションを取る。お金は降つてきません。あるものの中で計画的にやっていかなければならないということ、アビスパ福岡は運営しています。

管理するために、いろんな帳票を使っています。スタジアムでの集客活動についても、集客管理表が担当者のカテゴリごとに全部あり、見込みを立てて、その見込みに対して何人だったのかの結果の確認をします。なかなか計画通りにはいきませんが、このような運営体制を取って、社員と一緒に

て、クラブの社長になつていらっしゃる方が半分くらいいます。

社長就任のときは非常に厳しい財務状況でした。記者会見のときに「迷惑、ご心配をかけないでしっかりと経営をしていくようにするのが自分のミッション」ということで、健全な経営を自分たちの足で歩んでいけるような組織づくりについて話しました。

スポーツクラブの経営は、脇に井原監督や有名な選手がいることから、普通の事業会社の感覚とは違えます。スタジアムで「社長、頑張つて」と声を掛けられます。アパマンショップでは、入居者からそんなことを言われたことは1回もありません。そこが普通の事業会社と違うところなので、浮足立たないようにしないとイケないと感じています。

経営にあたっては、まず会社の立て直しを考えました。丁寧な対応、つまりCSです。サポーターの方は、自分でお金を払って、クラブのためにボランティアをしてください、寄附をしてください、いろんな思いを含めてファンとして動いてくれます。そういうのを受け続けていくと、やって頂くことが当たり前になり、当時何かご指摘等を頂くとちよつと面倒くさいと感じている空気を払しょくしなければ

取り組んでいるところです。

スポンサーは、2014年は186社。2015年から経営を任せていただき1010社になりました。最初は小口からスタートし、たいへん多くの皆さまに支援をいただき、入場者数も大幅にアップしました。昨年は1520社で、さらにステップアップできました。

アビスパ福岡は、2014年度が9億4000万円、前期決算で18億円です。現在、強化費は10億円使っています。それなりに名前と顔が一致するワールドカップに出た駒野友一選手とか、山瀬功治選手などちよつと名前のある選手も取れるようにはなりました。年商は浦和レッズが66億円。日本で最大規模のクラブ運営をしています。実質三菱重工の会社です。清水エスパルス、セレッソ大阪、ジュビロ磐田、ガンバ大阪などは、だいたい30億円から50億円の間です。J1で戦うには、30億円から50億円ぐらいの規模の売り上げにしていかなければ、強化費が10億円から20億円に持つていけないです。

そうならないと監督や一部の選手が高いパフォーマンスを発揮しても、同じ1個のボールを同じスペースのフィールドで蹴るとなると、なかなか厳しいものがあります。そ

ならないと感じました。せつかくのお客さまからいただいたというヒントや応援なのに、そういうものに壁を立ててはいけないからです。

クラブのEメールや電話には、お褒めやお叱りのメッセージがいっぱいきます。メールには全部目を通して、一つ一つきちつと返しています。これは普通の企業では当たり前ですが、着任当時はお客さまからのメールホルダーを1年間開けていなかったこともあり、怒られて当たり前です。「何を言っても駄目」という空気をすこく感じました。これは一つ一つ改善していかないといけないなと考えました。

スポンサーは1520社

会社組織の運営については、何も目新しいものはありません。ただ、望む形の体系化された仕組みがありませんでしたので、私が所属していた会社の社内規定などの提供を受け、アビスパ用にカスタマイズしました。情報開示と情報共有については徹底しています。元帳精査、いわゆる誰が幾らのお金を何に使ったのかは、役職者はいつでもウェブで見ることが出来ます。一



選手やスタッフ、家族全員での懇親会

ういう事情なので、まだまだ頑張っていかなければと考えています。

選手、監督、フロント、その家族を含めて年に1回、懇親会を2年間続けています。井原監督に聞いたら、「30年近くサッカー界にいてけど自分がいたクラブでは1回も無かった」と言っております。こういう意味でもフロントと現場、いわゆるチームが、コミュニケーション良く、情報も共有しながら、しっかりとコミュニケーションを取れるようにしています。

U16が世界第2位に

女性スタッフの活用ということでは、業務限定社員という形で採用

しています。香椎浜は団地が多く、主婦の方がいっぱいいらっしゃいます。業務限社員として、週3日以上で1日5時間以上の内勤で募集したところ、多くの方が応募されました。採用した方には、ルーチン作業でパソコンの入力やポスターの発送、チケットへの印字や郵送など地道な作業をしてもらっています。

市民クラブとして、取り組んでいることがあります。ホームタウン推進活動ということで、健康教室を行っています。市から委託を受け、コーチが高齢の方などにボールを使った運動を指導するもので、会場は公民館や体育館です。延べ2009回。参加者は3万6000人を超えています。

スクールということで、今ほとんど小学校を増やしています。幸いなことに多くの皆さまに申し込みをいただき、クラブとしての収益につながっています。

スクールの目標は1500人なので地道に増やしていきたい。サッカー大国の九州、福岡にはいい人材がいますので、アビスパでサッカーを覚えて、そのままアカデミーに上がってくるようなピラミッドができるようになれば、地元の選手がどんどんアビスパに上がってけると考えています。



練習が始まる前に相手サポーターに一礼するアビスパ福岡の選手

のであれば、こういう表現の仕方が一番分かりやすいのではないのでしょうか。城後寿選手が選手会長るときに、選手をまとめてくれました。一昨年からはベルスタジアムのホームだけでアウェーはやっておりませんでした。昨年、J1で4勝しかできなかった悔しかったと思いますけれども、アウェーでも全試合やり、今もこれを通しております。早めにスタジアムに来ることがあれば、フィールドプレーヤーが練習に入るころ、キックオフのほしい45分前ぐらい前に選手がそんなことをしております。そのときは、拍手を送ってください。

社会貢献活動にも取り組んでい



アビスパ福岡のU16が世界第2位に輝いた

アカデミーは、スクールよりも教育体制を整えています。今年6月には、U16が世界第2位になり、かつフェアプレー賞も一緒に受賞しました。日本を出たところで世界2位を勝ち取ったのは、地域の誇りの一つです。福岡地所に、今年からアカデミーのスポンサーになっていたいただきました。2位の報告ということも、福岡地所の榎本会長のところにもカップを持って訪問しました。

高校生、中学生、小学生には三者面談を行っています。「うちの子は、本当にプロになれるのでしょうか」「うちの子は、プロになれないんだったら、はつきり言ってください」と保護者の方は言われます。プロになれるのかなれないのか、中

ます。福岡市は「WITH THE KYUSHU」として、九州の各自治体と連携しています。市民クラブとして、九州に被災があったときに一緒に助けてあげようという理念に賛同し、寄付は福岡市を通じて被災地に届けています。

市民組織の拡大ということで、アビスパグループバルアソシエーイツ（AGA）を設けています。名誉顧問会議には七社会の皆さま、そして高島市長をはじめ多くの方に関わってもらっています。四半期に一度の定例会が朝7時半からあり、アビスパの活動を伝えるとともに、指摘や指南をいただきます。常任理事会は、グラウンドハイアットで毎月1日の12時からカレーを食べながらやっています。もう3年続いています。これは二十数社になりました。理事会は隔月で、100を超える企業の方が参加。発言が1回で回らない人数になってきましたけども、継続させていきたいです。今回、後援会の最高顧問になれましたけど、河部浩幸会長には成績が振るわないときから含めて、長きにわたり支援をいただいています。後援会の皆さまにもご支援をいただいています。アパマンショップの筑紫口店の5分の1ぐらいを切ってアビスパのシ

学生や高校生のときに決めてしまうのが、子どもの能力や未来を絶ってしまふようになるので、本人がやりたいというものはやらせるということ、親御さんたちと取り組んでいます。保護者の会は昨年からは始めました。クラブに対しての要望や心配なことなど声を上げてもらいたいと思います。保護者の方向け合うようになりました。

アビスパの経営に携わるようになったとき、サポーターの方やスポンサーの方を含めて、いろんな要望をいただきました。「やります」と言っても「やりません」と100回以上聞いているから」と言われ、何も言えないくらい状況もありました。これは無言実行といいますが、「分かりました。ご指摘ありがとうございます」と言って、結果をもってお見せしないと地域の方やサポーターの方が受け入れてくれないと感じたくらいの熱量なのです。

1年遅れてアカデミーでも保護者の会を始めましたら、その熱量がマグマのように残っていました。親御さんからのいろんな要望や指摘を、いっぱいいただいておきます。改善しなければいけないことがいっぱいあり、一つ一つ取り組んでいるところです。

トップチームは、理念共有、キャッチアップにしようということで、オフイシャルショップをオープンさせました。

Jリーグにはデロイトトーマツ社がアドバイザーに入っています。チームが勝ち点でランキングがされるように、経営もランキングがあります。経営面や財務面、集客面、チームとの関係など何十項目もあります。J2だった2015年度は優勝という形でアビスパ福岡は評価をいただきました。

地方クラブとしても、これから頑張る全国区にアビスパ福岡を出すこと。そして、アジアのリーダー都市である福岡市は、人口の伸び、税収の伸びなど、非常に元気な街です。アジア・チャンピオンリーグ（ACL）に出るぐらいの強さになつていかなければならない、という思いを持って活動しているところです。

レベルファイブスタジアムは生まれたスタジアムの一つです。しかし、10年前に張った芝で試合をしていること、雁ノ巣の施設も20年芝を張り替えています。だからピッチラインが歪んで見えます。選手にアンケートをすると、半分の選手から練習環境を良くしてほしいという声が上がります。芝を張り替えるには3500万円、スプリ

リア形成ということで、これはうちのクラブの特色だと思えます。選手にもクラブの理念や経営計画書とかを配り、市民クラブであること、やって良いこと悪いこと、そういうものをしっかり共有しています。

市民クラブということで、福岡市から予算がついて、いろんな形で広告とか、スクール運営とかの委託を受け、クラブにお金が入ります。行政や自治体からのお金は、税金が入っているということです。「しっかり自らを律しながら、市民の皆さんに受け入れられるようなクラブにならないといけない」と言っています。

練習を始める前に一礼

どのチームもやってないこととして、選手がフィールドに出て練習を始める前に、相手サポーターや選手に向かって一礼をしながら、皆さんに支援していただいていること、サッカーファミリーとして喧嘩をしないこと、ゲームをしながら一定のルールの中でゲームをしていること。日本の部分かもしれないけど、フェアプレーやリスベクトの精神を表現する

ンカラーを付けると、さらに加わります。4000万円をかけて芝を張り替えた方がいいのか、1人選手を取ってチームを強化した方がいいのか。まだまだ改善と改良をし、地域の皆さまの理解を得ながら成長していかなければいけないクラブの一つです。

元気な福岡の地でサッカーするならば、浦和レッズが66億で日本トップなので、やはりきりのいい100億円クラブというものを市民クラブで実現させ、名実ともにJ1でも常に上位、ACLに出て、中国や韓国にも勝つこと。福岡のクラブチームを、アジアの誇りとして持てるようなクラブにしていかなければいけない、という気持ちで日々活動しています。

アビスパ福岡 代表取締役社長
川森 敬史

1965年11月生まれ。東京都出身。2003年、アパマンショップネットワーク(現アパマンショップホールディングス)に入社。同社常務取締役、数社のグループ子会社代表取締役を現任。14年、アビスパ福岡への出資に伴い社外取締役就任。15年3月、代表取締役に就任し、現在に至る。

歴代の福岡市長(第15~36代)

歴代	市長名	在職年
第15~16代	畑山 四男美	1939(昭和14)年1月~1946(昭和21)年5月
第17~18代	三好 弥六	1946(昭和21)年8月~1951(昭和26)年4月
第19~20代	小西 春雄	1951(昭和26)年4月~1956(昭和31)年7月
第21代	奥村 茂敏	1956(昭和31)年9月~1960(昭和35)年9月
第22~24代	阿部 源蔵	1960(昭和35)年9月~1972(昭和47)年9月
第25~28代	進藤 一馬	1972(昭和47)年9月~1986(昭和61)年11月
第29~31代	桑原 敬一	1986(昭和61)年12月~1998(平成10)年12月
第32~33代	山崎 広太郎	1998(平成10)年12月~2006(平成18)年12月
第34代	吉田 宏	2006(平成18)年12月~2010(平成22)年12月
第35~36代	高島 宗一郎	2010(平成22)年12月~

戦前 戦中 戦後72年の 今の目線で…歴史 戦後の 市長さんの遺跡を見る



郷土史研究
ふるさとのかたりべ
おか べ てい いち ろう
岡部 定一郎氏

1889(明治22)年、市制を施行した福岡市。九州の要の都市として、1972(昭和47)年に政令指定都市となり中央区や博多区、東区、西区など5区が誕生しました。75(同50)年に人口が100万人突破し、2013(平成25)年には150万人を超えるなど、元気で住みよい街として注目されています。

西日本支店長会11月例会の講師は、郷土史研究 ふるさとのかたりべの岡部定一郎氏。「戦前 戦中 戦後72年の今の目線で…歴史 戦後の市長さんの遺跡を見る」と題して、福岡市のハンドリングをした7人の市長の取り組みについて語りました。

(講演日:2017年11月8日)

を日本陸軍が24連隊として位置付けて、最後には本土決戦の総司令部になります。

日本列島は北海道から、西の方に長いボディーを持っています。その一番西の端が九州。九つの州があるから九州ですが、その頭の所が福岡、筑前です。朝鮮半島が目先、中国大陸がすぐ隣です。そこに文物文化が2000年往來をしていますから、日本の全体の文化、行政、制度、仕組み、仏教も含めて、五感の感性を全部貰ったのが博多湾です。それを中央に下ろしていくことによつて日本の大和王朝ができ、歴代の奈良、平安からずっと、日本の国体が生まれてきています。日本の文化の事始めは、博多と自負しています。

45(昭和20)年3月、いよいよ戦局が厳しくなります。博多の街は、日本の軍事物資の兵站基地に変わつてしまふのです。兵站基地になるがゆえに、東の千早辺りに軍事列車がどんどん入ってきました。そして、船が都合できたら、軍事物資を積んで博多港から出航するので、だから米軍が博多の街を空襲するときは、軍事物資がある千早は一つも焼いていません。港の機能を壊してしまえということ、機雷封鎖をして、後は6月19日の夜、

博多の街は、先輩から「勉強せんと分らんてすばい」と言われました。「太宰府があるけん博多たい」とも言われています。大阪府と京都府というような形で都の呼称を府と申しますが、その府が実は大宰府なんです。そこに、いろいろな文物文化を集合させ、束ねて、次に持つて行く能力と機能を持っているところが府。その府があるから、そこに多くの人がたくさん集まってきたから、博多になったのです。かれこれ2000年の歴史があります。

本日は福岡市の戦中と戦後を中心に、歴代市長がどうしてきたのかを、私なりの感覚で紹介します。結論から言うと、立派な方ばかりでした。

福岡市の市章は、カタカナのフを九つ組み合わせたものです。制定したのが1909(明治42)年。福岡の名付け親は、黒田官兵衛です。自分のふるさとが備前国、邑久郡福岡の地にあつた福岡です。関ヶ原の戦いで息子の長政が活躍することによつて、40万石のご褒美をもらいます。さつそく官兵衛が徳川家康のところにお礼に行つたときに、「西国の鎮西の任を我に与えたまえ」と申しました。家康は「我が意を得たり」ということで、官兵衛は博多

に來まして、いろんな施策をします。そのときに武將や知識人などを集めて、連歌をしています。その場所は太宰府天満宮でした。天満宮と黒田家は因果関係が深く、官兵衛の先祖が宇多天皇。その宇多天皇に仕えていたのが菅原道真公です。そういう絡みがあつて博多に來て、大宰府に隠居所を設けました。

そこで正月の連歌の集まりをやつたときに、これから先の国をどうしようかといつたときに、「松梅や末永かれと緑立つ 山より続く里はふく岡」と読みました。福を呼ぶ岡としたい、最後には巡り来る春には、ウグイスが鳴く穏やかな国にしたいということ、**「福岡」という名前が付きます。**

戦中から戦後の7人の市長のハンドリングによつて、福岡市は素晴らしい街になっています。

無法の中に無法の処置ー 畑山市長

最初に紹介するのが、戦前から終戦翌年までを担つた畑山四男美市長。行政があつてないような時代の市長です。軍の所轄管轄によつて、西部軍管区司令部が平和台陸上競技場の東構にありました。福岡城三の丸があつた跡です。そこ

陸軍の発表では60機となつていますが、米軍の記録を調べたら二百何十機が博多の街を徹底してやつつたのです。最後に、福岡港をやつて、平和台にあつた陸軍基地を焼くだけ焼いた。木と紙の街だから、焼けるだけ焼かしておけというふうな形です。

今回の支店長会例会会場である三光園は、旧柳町に対して、新柳町。花柳界でした。この辺りも完全に焼かれてしまいました。終戦で進駐軍が入ってきました。准将が言つた言葉が福岡という言葉。「ここはハッピーランド。幸せの岡ということ、そこに住む人たちはジェントルマンであり、レディである。そういう基本的な対応で接しなさい」ということで進駐業務が行われました。ですから、大きな事件は起こっていません。むしろ、お互いが協力しあつて戦後復興という形に乗り出してくれました。一番困つたのが、食糧がないこと。軍の貨物列車、無法ですがそれを解いて市民に提供してくれました。

博多の街は古くから、いろんな慣習事があります。博多祇園山笠やどんたく松囃子などがあります。博多の町人は何一つ生産能力がありません。周辺のお百姓さん、漁師の皆さんからの頂きものによ

つて、物々交換、貨幣交換で、生活ができていた状態です。博多が焼かれた、助けてやらんばいかんばいというような形で、ないない尽くしの中にも生産物を持って、お見舞いを兼ね、補給をしてもらいます。

そのころは戦時統制で、配給制度です。それにも目をつぶって、日本陸軍用の食糧品まで全部、福岡の市民に補給してくれたのが畑山市長です。無法の中に無法の処置をされていますが、そうしないと生きていけなかったのです。

空襲により約5万世帯が焼か



ました。第1次空襲により、約1000人が犠牲になりました。たいへんな被害を受け、それを諸にかぶった畑山市長は市民のことを第一に考えたのです。違法かもしれないが、食糧を確保することから始まるという形で畑山市長は責任を持って対処されました。

第3回国民体育大会を誘致―三好市長

46(同21)年8月、戦後の新しい市長となったのが三好弥六さんです。米軍の統治下の時代です。政府は健全な体をつくって、健全な精神力を養って戦後の新しい日本をつくらうじゃないかということ、46(同21)年に第1回国民体育大会を京都で催しました。2年目が金沢です。どちらも空襲に遭っていません。福岡もやろうということ、第3回に手を挙げました。空襲で丸裸の状態ではない、尽くしです。

会場は、福岡城跡の三の丸という平たい台地です。そこに400坪のトラックやフィールドコース、走り幅跳び、棒高跳び、近代五種など、いろんな機能を全部網羅したものを、米軍の協力まで得て造りました。それが平和台陸上競技場と呼ばれる国体の大会会場です。

設計は岡部平太さん。この人は近代スポーツの専門家。米軍に頭を下げて要請をして、大会開会の2カ月前に完成しました。ところが現物づくりに一生懸命で、会場名がありません。

この辺りの資料は、福岡市博物館に保存されています。第3回国民体育大会のポスターは、開催地が福岡市で、会場名はありません。開会式まで何日かというときに、三好市長と岡部平太さんが、マッকারサーの東京まで説明に行きました。そのときに「今までは軍の台でしたが、平和の台にしたい。お許しただけです。どうか」と。大衆が集まってくる大会ですから、進駐軍は神経を使うわけです。これを平和の台にしたいということ、平和台と名付けること、の了解を貰いました。

国体は国家行事ということ、さらに国旗掲揚と国歌斉唱の二つをお願いしました。そのころ国体は、東京の総理府に1本しか揚がついていません。国民のための体育大会での国旗掲揚は、マッকারサーの特別配慮で了解を取ることができました。そしてもう一つ、国旗を掲げるのに、さつと掲げるわけにはいきません。「国家を歌わせてください」とお願いをしたのです。国



旗、国歌は戦争のときのシンボルのようなもの。それを堂々とお願ひし、これからの新体制に向かうために健全なボディーと心を養うために国旗、国歌が必要ということ、で了解をいただきました。

さらには宮内庁から、特別な配慮の電話が入りました。国民のために天皇杯、皇后杯を贈呈することになったのです。現在、国体は2巡目をしています。天皇杯と皇后杯は今でもラウンドしています。その形が初めて生まれたのが福岡での大会です。焼け野が原のところに、手作りです。本当に粗末な

形ですが、戦後の近代スポーツのメッカとして誕生に努力したのが三好市長です。

動物園で子どもたちに夢を―小西市長

次が小西春雄市長。福岡国体が成功したので、小西市長は焼け野が原となった博多の街に、緑の復興で関与します。それにもまして、子どもたちに夢を与えようではないかということ、アンケートをしました。「ラクダがいい」「象さんがほしい」という声に。行政の予算が潤沢ではないのに強引に無理をして、福岡の緑の中心地である南公園に動物園を造り、自ら子どもたちを招いていろんな文化行事をしました。

昭和20年3月まで、東公園の一角に立派な動物園がありました。戦争で危ないからということ、動物を全部殺したのです。戦後復興もまだまだの時代に、非常に粗野な形の動物園でしたが、子どもたちに夢を与えてくれました。これが小西市長の大きな功徳です。

三好さんの胸像は平和台陸上競技場のマラソンゲートのグラウンドの入り口の所にあります。その向かい側に岡部平太さんの胸像

があります。小西市長の胸像は、動物園の入り口に設置されています。「よく来たね」という顔をしています。今回の講演をするために確認に行きましたが、現在はありません。動物園のリニューアルで、完成後に入り口のところに設置すると市の担当者が説明してくれました。

文化こそ大事な要素―奥村市長

その次が奥村茂敏市長です。博多商人の奥村玉蘭の血筋を引いた方です。文化こそ、日本を築き上げてきた大事な要素。博多には、多彩な文化、祭り、行事がたくさんあります。新憲法では、国や行政は祭りや宗教祭事は関わるべきで、きません。「祭りがあるけん博多たい」と言われるぐらい、祭りがたくさんあります。ユネスコ無形文化遺産になった博多祇園山笠は、櫛田神社の奉納神事で、それを担うのは博多町人です。戦後、博多の町人が山笠を再興しよう、と、宗教と関わりのない形として、発展期成会をつくりました。文化は、歴史をつなぐ大事な要素です。奥村市長は自ら祭りをやるということ、祭りを文化として位置付けました。



天神5丁目の須崎には市民会館や県の美術館があります。県に要請し、美術館を建ててもらいました。福岡市は舞台ステージをにぎやかにやろうと市民会館を建設しました。それに合わせ、福岡市は歴史文化が分かるようにモニュメントを造っています。

文化の再現にたいへん努力されたのです。その一つが、私が関与している博多仁和加振興会。言葉、方言です。方言文化が無くなると、何もかも無くなると、街の発展はない。自らが博多仁和加振興会の初代会長になられています。博多町

人の言葉をいろんな意味で発信しました。

Y字構想で市の発展に寄与―阿部市長

55(昭和30)年に福岡市の人口は50万人を超えます。九州の経済市場率は約10%です。そして、博多、福岡は1%程度です。

阿部源蔵さんは、博多にとつては天佑の市長です。東公園には、戦前は牧場がありました。その総領です。頭脳明晰、当時は中学の修猷館高校を首席で出て、五高から東大に入りました。そのときの同級生には、岸さんや佐藤さん、池田さんといった内閣総理大臣を歴任する方がいました。自身も官僚のエリートコースに入って、警察関係の監察官の肩書で九州に赴任しました。ふるさとの博多を見て、なんとかしなくてはいけないとエリートコースを捨てて、小西市長のときに助役になりました。奥村市長のときも助役を務めました。60(昭和35)年に市長になり、福岡市のマスタープランを政府に訴えています。

Y字構想と言われる全国で最初の市総合計画を策定しました。その2年後には、博多駅が全国有数の民衆駅として完成しました。

福岡市の発展の基本軸をどこに置こうかと考えた結果、Y字構想の中心を天神のゼロ点にしました。ゼロ点から東には、大和王朝に文化文物が流れて行ったことから、流通や物流、人の流れなど、流れるものはみんなこちらに持つていきました。民衆駅として完成した博多駅は、旧博多駅よりも400メートル南にセットバックさせています。400メートル移動させたので、400メートル四方の大きな土地を活用することができるとのことです。新幹線、飛行機、都市高速など、みんなこちらにあります。

西側は緑住地区です。こちらには、煙がでるものはまかりならぬといきました。西側には、高取焼の窯の跡があります。現在、県の文化財ですが、この窯の煙もまかりならぬとなり、それも中止。緑住地区として、文化の豊かなエリアにするということなんです。Y軸の基軸を中核管理軸としました。この計画を福岡市、阿部市長、国の関係者と検討した結果、実行することになりました。

1%の市場に対して、1%の投資をして、どれくらいの発展のデータが出るものか。戦後10年そこそこしか経ってないときに、モデルパターンとしてトライアン

市長が引き受けました。阿部市長と同じように優秀な方で、修猷館から東大、東大から労働畑に入って、労働次官から福岡に帰って県知事候補になり、その後福岡市長選により市長になりました。福岡市の将来ビジョンに貢献され歴史を知った人でした。

阿部市長がY字構想で、桑原市長は十字構想です。渡辺通りを自費で造ってくれた渡辺与八郎さんの遺徳を称えて、渡辺通りという名称が付いています。街筋が一直線で1丁目から6丁目まであります。そのゼロ点を基軸として、さらに海に延びる十字構想を福岡市の将来像にしたのです。開港都市宣言で、五つのファイブポートプランを示されました。

まず博多湾のエアポート。新宮沖の相島の横に、国際空港を造ろうという構想です。次が、博多湾内の埋め立てによるアイランドポート。これがアイランドシティです。3番目がシーポート。港の整備です。博多港は、以前は2万トンの船が接岸できました。今は6万トンの船が接岸できます。1隻に6000人ほど収容できる客船が来います。

4番目は福岡タワーがある百道一帯の開発と整備。百道は百済

ドゴウでやってみようではないかとなったのです。

黒田家と関わり深くー 進藤市長

玄洋社と言えは福岡の政治結社として大変有名です。玄洋社の初代が進藤喜平太さんでした。その息子が進藤一馬さん。国会議員をしていましたが、地元に戻り第25代から第28代の市長を務められました。阿部市長のマスタープランを引き継ぎました。

温厚な方で、全部を包み込んでまとめてリードしていかれるような方で、松原桜のエピソードで知られています。都市開発による道路建設で桜の木が切られようとしたときに、市民からの市長への和歌を知り、その返答として和歌を添えてその桜の木を残してくれたのです。郷土愛に燃えた人で、いろんな人たちの集まりなどでは「博多に来たら二つだけ歌を覚えて帰ってくれ」と言っていました。「正調博多節」と「黒田節」です。自身も「黒田節」がお上手でした。

進藤市長は黒田藩と交流がありました。東京の霞が関には黒田藩の上屋敷、赤坂山の台地には中屋敷。隅田川のほとりの紀伊屋敷

など海外からの賓客が上陸した場所です。そこに234坪の福岡タワーが立っています。ここからアジアの文化を頂戴した博多の街が、ここからアジアに向かって情報の発信をする基地にしようとして、1989年にアジアの国などを集めて「よかトピア(アジア太平洋博覧会)」を開催。大成功で終わり、余剰金の活用として、アジア文化賞などを創設しました。

最後に九州大学の再整備。「千代の松原」と言われた場所に、19



九州大学伊都キャンパス (提供:福岡市)

文左衛門の屋敷の跡の少し横のところに蔵屋敷がありました。黒田藩は明治になり遅れ、明治になつた途端、廃藩置県で黒田藩が無くなったという時代背景があります。黒田藩の資産や遺産がたくさんあり、福岡で預かってほしいと要請があり、大濠公園の一角に建設した市の美術館に、黒田藩の遺産である美術品や工芸品などが全部筑前に帰ってきています。

現在黒田藩を支える団体が三つあります。一つが黒田の家臣軍団でまとめられている藤香会。もう一つが、

黒田家が福岡市に不動産関係を含め若干の資産が残っています。不動産を貸すことで地代が入ります。その地代は一切使わずに、大学生の奨学金にしているのです。その奨学金は返済をしなくてもよいのですが、留学の成果を映像付きで話すことが必要です。

最後に、私も事務局長を12、13年ほどしていた福岡城市民の会。福岡城はふるさとの大きな史跡です。いろんな物が残っていて、これを保存、育成し日本文化として残

03(明治36年、京都帝国大学の医学部が入ってきたのが、九州大学の始まりです。この百年の間に、優秀な方々によって政界財界などにおいて福岡の街はパワーアップをいただいています。新しい九州大学を、この糸島半島の一角に整備する文化のカルチャーポートです。九州大学の新しいキャンパスである伊都キャンパスの整備は、2018(平成30)年秋の文系学部移転で最終段階となります。

福岡市の南西部は緑住地帯。平

尾山や油山などがあり、山が三段重ねで、交通体系が悪い所です。そのために橋本から、天神に向かって地下鉄3号線を造りました。その地下鉄が博多港に行き、さらにアイランドポートに行き、エアポートに行くのが当初のマスタープランでした。九州国際空港のプランには、九州の各県が手を挙げたことから、運輸当局は案を取り下げました。五つのポートプランのうち四つは完全に確立し、福岡市の経済発展に寄与していることは間違いありません。

本日紹介した市長さん



福岡城跡・大手門 (提供:福岡市)

す活動をしています。福岡のシンボルである福岡城に対して、黒田家が一步も二歩もこちらに寄ってきて、未だに作業のお手伝いや墓参りなどをされています。現在は16代の当主が年に4、5回、福岡に来て、いろんな作業をしていただいています。

十字構想を市の将来構想にー 桑原市長

進藤一馬市長の後を、桑原敬一

7人のうち、最初の畑山市長さん以外は胸像があります。その胸像の後ろに、いろいろな意味での功績を称えておられます。市民としては、いつも市長さんをボロカすに言っています。福岡市の素晴らしいハンドリングをしていただいているのです。

イギリスの情報誌「モノクル」が発表した「世界の住みよい都市ランキング」で、福岡市は世界で7番目の評価をいただいています。このような立地の都市です。

郷土史研究 ふるさとのかたりへ 岡部 定一郎

1930(昭和5)年生まれ。54(同29)年、新天町商店街商業組合に勤務後、58(同33)年に大店に入社。87(同62)、同社を定年退職後、福岡県観光アドバイザー、太宰府市教育委員会、福岡市イベントアドバイザーほか、多数の経歴を持つ。2016(平成28)年、福岡市無形民俗文化財「博多仁和加」振興会会長に就任。全日本かるた協会8段としての寄稿「福岡かるた風土記」を西日本新聞で連載中。



伝統文化に触れた懇親会

8名の芸妓と半玉2名がおもてなし



江戸中期から発展してきた博多伝統芸能を守り続ける博多芸妓。最盛期には2千人を超える芸妓でにぎわった博多でしたが、戦後は年々減少。現在は立方(たちかた)・踊り手)と地方(じかた)・演奏者)を合わせて18名ですが、少数精鋭で芸に精進しています。宴席の他にも、1月の十日恵比須「かち詣り」で始まり、5月の「博多どんたく港まつり」への参加。終わるとすぐに稽古に入るという、12月に博多座で行われる「博多をどり」と1年を忙しく過ごしています。



博多芸妓について
 加賀電子の渡邊さんに、そして博多手一本は、一番を唄った岡部さんに見事に、いれたいただきました。三年、三日目の三光園での特別例会、ご参加の皆さんは満足されて帰路につかれました。

11月は3回目となる特別例会として、博多伝統文化の良さに触れようと二部構成で開催。
 岡部 定一郎さんの講演の後、懇親会として8名の博多検査芸妓と半玉2名の計10名を交えて、老舗料亭「三光園」の料理を楽しみました。
 鼻の下が伸びないうちに、参加者は講演の終了後に身だしなみを整え、芸妓衆と一緒に記念集合写真を撮りました。
 開会冒頭、お祝い舞の披露があり、皆さんは舞台の芸妓さんにくぎ付けでした。祝儀舞の後、タカラスタンダード常務執行役員福岡支社長で西日本支店長会の上谷隆会長より、ご挨拶と乾杯の発声で会はスタート。皆さんは、芸妓さんからのお酒を注ぐもてなしを受け、ツーショット写真を撮ってもらったりして賑わいました。
 芸妓衆の華麗な舞の披露などでおおいに盛り上った交流懇親会。締めは恒例の博多祝い唄三番と博多手一本です。二番を講師の岡部さん、三番を梓設計の前田さん、三番





2017西日本新聞ゴルフ会 成績表

(敬称略)

賞	氏名	会社名	所属
優勝	高山 栄一郎	西広	政経懇話会
準優勝	森田 裕三	森永乳業九州	支店長会
3位	松木 潤一郎	丸住製紙	パートナーズクラブ
4位	是木 信幸	西鉄旅行	パートナーズクラブ
5位	坂田 正彦	テレビ西日本	政経懇話会
6位	古林 久樹	福博総合印刷	パートナーズクラブ
7位	菊野 智康	みずほ信託銀行	パートナーズクラブ
8位	北 英一郎	宮崎商店	政経懇話会
9位	吉野 哲也	日本コンクリート工業	支店長会
10位	古賀 精一郎	イズマサ	支店長会
24位(西日本新聞社賞)	大 淵 博 義	安川電機	支店長会

「2017西日本新聞ゴルフ会」賞品提供社(五十音順)

- アサヒ飲料 九州支社
- アサヒビール 九州統括本部
- 味の素AGF 九州支社
- イースタンススポーツ 博多スターレーン
- 伊藤園 福岡支店
- ANAクラウンプラザホテル福岡
- 江崎グリコ 九州菓子食品統括支店
- エフ・ジェイホテルズ グランド・ハイアット・福岡
- 大分県 福岡事務所
- 大塚製薬 福岡支店
- オンワード樫山 福岡支店
- 加賀電子 福岡営業所
- 鹿児島県 福岡事務所
- カゴメ 九州支店
- キッコーマン食品 九州支社
- 麒麟ビール 九州統括本部 福岡・佐賀支社
- 麒麟ビラレッジ 九州地区本部
- 熊谷組 九州支店
- 熊本県 福岡事務所
- グリーンランドリゾート
- 月桂冠 九州営業部
- ゴルフダイジェスト・オンライン 福岡支社
- サッポロビール 九州本部
- ジュビターテレコム 九州・山口ブロック
- 商船三井フェリー 博多支店
- 西研グラフィックス
- 全日本空輸 九州支社
- ガイドードリンク 西日本第二営業部
- テレビ西日本
- 西鉄シティホテル 西鉄グランドホテル
- 日本航空 九州支社
- 日本たばこ産業 九州支社
- ニューオータニ九州 ホテルニューオータニ博多
- ネスレ日本 九州支社
- 博多エクセルホテル東急
- 博多座
- 福岡昭和タクシー
- 福岡ソフトバンクホークス
- ホテルオークラ福岡
- ホテル日航福岡
- 丸住製紙 九州支店
- 三好不動産
- 明治 西日本支社
- 森永乳業九州 営業本部
- モロゾフ 福岡支店
- 若宮ゴルフクラブ

西日本支店長会

パートナーズクラブ

西日本政経懇話会

地域フォーラム

2017西日本新聞ゴルフ会

西日本会に所属する団体が一堂に会して行う「西日本新聞ゴルフ会」を11月18日(土)、福岡県宮若市の若宮ゴルフクラブで開催しました。「西日本支店長会」「パートナーズクラブ」「西日本政経懇話会」「地域(長崎・佐世保・玄海)フォーラム」会員の交流懇親の場として毎年11月に開催しています。

今回は17組65名の参加で、自慢の腕を競い合いました。天気予報では午前中は雨でしたが、参加会員皆さまの日頃の行いが功をなしたのか、雨も降らず、初冬の若宮GCのコースを楽しめました。

プレー終了後は、パーティー表彰式までの時間を利用したワンポイントレッスンを実施。錦谷俊郎プロからアプローチの手ほどきを受けました。

パーティー・表彰式は、柴田建哉西日本新聞社代表取締役社長の開会挨拶と、上谷隆タカラスタンダード常務執行役員福岡支社長(西日本支店長会会長)の乾杯の発声で始まりました。

今回は、従来より多くの会員社に賞品提供のお願いをしましたところ、豪華賞品を多数提供いただきました。紙面および口頭で披露すると、会場から拍手喝采がありました。

栄えある優勝は、西日本政経懇話会の西広執行役員ソリユーションメディア局長 高山栄一郎さんで、ベストグロス賞もゲットされました。アウト37、イン41の78という素晴らしいスコアでした。

多くの会員社様から賞品の提供をいただいたお蔭で、参加者ももちろん賞品をお持ち帰られました。誌上をお借りして厚く御礼申し上げます。

今回は春のゴルフ会として、西日本支店長会とパートナーズクラブ合同で、来年5月19日(土)福岡カンツリー倶楽部 和白コースで行います。保険の窓口レディース杯の翌週の土曜日です。女子プロが競い合った臨場感を感じながら楽しんでいただきたいと思います。



九州人 の走る

九州人が、一直線に奔る。
目的のため、がむしゃらに奔走する。
時代を超え、壁を破り、走り抜いた人びと
その軌跡を辿る。

日本全権大使の重責を担う 小村 寿太郎 (1855~1911)



恐らく、小村家には寿太郎を大外交官にする交渉巧みさがDNAとして受け継がれたのだろう。また、飢肥藩は72万石を誇る薩摩藩と藩境を接しており、常に境争いを繰り返してきた。のしかかるように迫る大藩とその10分の1にも満たない小藩の争い。飢肥藩は考えられるすべての戦術、策を動員して対抗。ついには幕府によって飢肥藩勝利を勝ち取っている。そのような小国が生き延びる風土もまた寿太郎の血液にしみこんでいたのだろう。

裁判官から外交官に

小村は、小柄の「はなたれ小僧」だったが、藩校に学び、学問に夢中と言われるほど打ち込んだ。認められ長崎留学、さらに東京南校(東京大学の前身)に進み、米国のハーバード大学で法学を治め、帰国して裁判官となるが、後に外務省に移る。北京代理公使に就任、日清戦争とその戦後処理に抜群の腕を発揮し

寿太郎が今いたら」と夢想させる。小村寿太郎(当時外相)は日露戦争後の講和交渉をまとめ上げた日本全権大使である。

最も尊敬する外交官

小村は宮崎県の南端、日南市。飢肥藩で有名な飢肥藩の出身。同藩はわずか五万二千の小藩。ここから、吉田茂元首相が

「外交官として最も尊敬する人物」として挙げた小村が生まれ1855(安政2)年育った。明治維新前夜、疾風怒濤の時代である。寿太郎は飢肥藩のわずか十三石の下級武士の息子として生まれた。父・寛も才能あふれる人物だったのだろう。抜擢されて商社を設立、飢肥藩の育成、販売のほか農産物を取り扱う半官半民の会社だった。

「誠」の一字で外交交渉

日露講和を成し遂げた

た。外交官としての「読み」はこまめな情報収集にあった。情報を求めて走り回る小柄な小村を「ネズミ公使」とあだ名した。駐米、中露公使と順調に出世階段を上り、当時、日本の最大の脅威だったロシアの南下に備えて、日英同盟を結び、外交的防備を固めたのも小村である。

日露戦争は、日本海海戦や203高地・旅順陥落などで日本の辛勝ではあったが、大勝利に酔う日本国民は膨大な権益と賠償金が得られるものと信じ、米国のボーツマスで行われた講和交渉に期待した。それを背負ったの対口交渉だったが、ある程度の権益は勝ち取ったものの賠償金は得られなかった。得たものは樺太南半分であった。

国民は大国との戦争で、多くの犠牲を払い、国威高揚の世論もあつた。日比谷公会堂が焼き討ちに遭い、警察署や交番が次々に襲われた。しかし、小国よく大国を制した勝利とはいえず、日本は兵員、補給面からみればやこれ以上戦争は続けられ

ない状況にあった。一方、ロシア国内は革命運動が広がっていた。ルーズベルト米大統領が斡旋にたった。「ここが潮時」。1905(明治38)年、講和は成立。しかし、小村は過労で倒れた。帰国した小村は、「国賊」の指弾を浴びたが、反論、弁解することなく耐えた。

「国民外交」を提唱

その後、小村が行ったのは「国民外交」の提唱である。外交交渉は、外交官の術策で行うものではなく、国民の理解を得て進めるものだ。民間外交、議員外交、経済交流など「多重的な外交こそ、重要だ」と。それはまた、小村の外交官としての戦勝品であった。

死の直前、書き残した一文がある。「万一にも余に取るべきところがあるとすれば、誠の一字に尽くされると思う」と。1911(明治44)年11月、死去。享年56。故郷・飢肥に小さな立像がある。|| 敬称略(久保平)

小村 寿太郎

国際交流センター「小村記念館」

小村寿太郎没後80年の1993(平成5)年開館。小村寿太郎の生い立ち、外交官としての足取り、日本全権大使とし臨んだポーツマスでの講和交渉の史料などが展示されている。外国人の見学者も多い。生家も近くに復元されている。

【小村記念館】
宮崎県日南市飢肥4丁目2-20-1号
☎0987-25-1905

ポーツマス講和会議の様を描いた図。日本側前列中央が小村寿太郎(小村記念館蔵)

ゆかりの地

小村が学んだ旧藩校・振徳堂

飢肥藩主によって、1831(天保2)年に設立された。多くの学者を招き、7歳以上の子弟を教育した。講堂、聖堂、書庫などを備え、西南戦争では兵站部として使われた。その後、学校校舎として、飢肥地方の教育の場となった。

【旧藩校・振徳堂】
宮崎県日南市飢肥10丁目2-1
☎0987-25-4533

小村寿太郎が学んだ藩校振徳堂。素朴、誠実な人柄もここで培われた(宮崎県日南市飢肥)